

事案名	立川市の事案（東京都13-4）
分類	その他 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『陸軍科学研究所及第六陸軍技術研究所に於ける化学兵器研究経過の概要』昭和31年6月〔1〕 ・『昭和記念公園は飛行場だった 立川飛行場に関する学習会の記録』第2集（作成年月日不明）〔2〕 ・『『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）』平成15年10月20日〔3〕
資料内容概要	<p>航空部隊専用の化学戦資材の研究が、陸軍科学研究所第二部から立川の第三航空技術研究所に移管され、爆弾にイペリット、ホスゲン、催涙剤を入れた際の撒布状況の研究がされていた。</p> <p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和16年6月に、陸軍科学研究所第二部で行っていた航空部隊専用の化学戦資材の研究が立川の第三航空技術研究所に移管されたと記載されている〔1〕。 ・元第三航空技術研究所員の証言として、第三航空技術研究所では、爆弾にイペリット、ホスゲン、催涙剤を入れてどのような撒布状になるのかを研究していたと記載されている〔2〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三航空技術研究所跡地は、現在、昭和記念公園となっている。公園工事事務所は、「公園の工事にあたって、毒ガス弾に関する調査は行っていない。工事中に不発弾は出てきたが、毒ガス弾等の発見はなかった」と記載されている〔3〕。